

## 週日の説教

金 大烈 神父 2009年3月26日(木)

### 《神様に愛されていることを悟れるように祈りましょう》

私たちは、『何かを知る。何かが分かる。』という表現をよく使いますね。

「皆様はキリストを知っていますか。」では「サベリオ神父を知っていますか。」「少し。」そうですね。正解です。自信を持って「はい」と答えたら罫に掛かります。私が何を望むのか、何が好きで、何が苦手か、くらいはだいたい分かりますよね。でも、全部分かっているわけではありませんね。

それでは、神様についてはどうですか。神様のことを何パーセントくらいご存知ですか。神様のことといえば、やはり神様のみ旨ですよ。何を望んでいらっしゃるのか、何を悲しんでいらっしゃるのか、何を面白いがるのか。そういうことを私たちが把握できれば、ある程度、神様について、イエス様について、「分かっています」という告白ができます。皆さまはどうでしょうか。何パーセントくらい分かっているでしょうか。

「分かっています」と言えば傲慢な気がしますよね。「わかりません」と言えば今までの時間が無駄になってしまいますね。

イエス様の御心、神様の御心をできるだけ間違えのない範囲で知るために、皆様に共通して必要なことが一つあります。それは神様に愛されていることを悟ることです。神様に愛されていることを認めることができなければ、私たちは、神様について知っているとは絶対に言えません。神様に愛されていること、赦されていること、それを悟った途端に私たちには心の働きが生じます。神様が私にこのようにしてくださったのに私は何をしているのか、と。

皆様、結局私たちが歩む信仰の道は、神様に愛されていることを少しずつ確信していく道ではないかと思います。そして、神様からいただく愛に対して、感謝の心が大きくなればなるほど私たちは、もっと自分に与えられている人生を楽しめると思います。皆様、「はっきり神様のことが分かっています」という告白ができるように神様が愛してくださっていることをよく悟れるように願ってください。

ありがとうございました。